

## 8-4-5 道路構造物専門委員会

### 1. 主な活動の記録

- (1) 道路構造物専門委員会の開催  
専門委員会開催 10 回（定例）  
各 WG 参加: 随時 (CIM 対応 SWG、公益活動 SWG、業務体系 SWG、改定道路橋示方書対応 SWG、道路会社業務検討 WG、対外活動委員会 WG、照査特別 WG、設計ソフトウェア連絡 WG、RCCM 対応 WG)
- (2) 道路橋示方書改定に伴い協会員への内容理解の普及活動実施  
道路橋示方書において、設計体系の大規模で抜本的な改定が実施されたため、会員各社及び発注者に対して、「設計計算例の作成」とその講習会を実施した。設計計算例作成は、国交省・国土総合政策研究所・土木研究所、日本道路協会と協議連携を行い、講習会では各支部の協力を得ながら実施した。
- (3) 施工条件明示チェックシート作成  
高品質な成果品作成への対応として、橋梁を先進事例として、施工条件明示シートを整備した。建設コンサルタントが担う各専門分野の品質確保を大きく改善するものである。
- (4) BIM/CIM 推進委員会への活動参加  
CIM の諸基準改定・試行による評価・調査から維持管理までのプロセス検証・ソフト開発への協力・実務者への展開検討など、関係する SWG 活動へ参加し、i-Construction について取り組んでいる。
- (5) 各道路会社との意見交換会のための資料作成  
対外活動委員会 WG の一環として、対外活動 WG 中心で資料作成に協力した。さらに、過年度に引き続き行われた「実務レベルの課題を解決するための実務者懇談会」に対応するため、資料の作成とともに懇談会に参画した。
- (6) 「成果品に関するエラーの事例集」の作成と品質セミナー「エラー防止のために」の開催  
技術委員会の関連専門委員会とともに平成 30 年度版『成果品に関するエラーの事例集』を作成し、『品質セミナー ～エラー防止のために

～』を全国 9 支部で 10 月に開催した。当専門委員会では橋梁に関する事例収集・テキスト作成・セミナー講師を担当した。

- (7) RCCM 更新教材の改訂  
RCCM 更新教材については、平成 29 年示方書改訂に合わせたスライドの新規作成、練習問題の追加を実施した。
- (8) 設計ソフトウェアに関わる検討  
「設計ソフト使用により入力ミスが生じやすい事例」について再度専門委員構成各社にアンケートを実施し、ソフト会社へ提示した。
- (9) 協会内委員会等への参画と専門委員会としての支援  
公益活動 SWG、業務体系 SWG 等の協会内活動に専門委員会から委員が参画し、専門委員会での議論を通じてその活動を支援した。
- (10) その他の主な活動
  - a) 日本道路協会主催の各設計・施工便覧改定 WG 等に協会委員として参加した。
  - b) 国土総合政策研究所からの要請に応じ、NETIS 関係、CIM 勉強会等の活動へ協会委員を派遣した。
  - c) 土木学会主催の各委員会や基準改定・策定活動へ協会委員として参加した。
  - d) NEXCO 総研からの要請により、歩掛改訂の基礎資料作成に対して協会委員として対応をした。
  - e) その他各関連協会からの要請より、委員会活動や WG 活動へ協会委員として参加した。

### 2. 次年度の活動について

次年度も以下の活動を継続的に実施し、新たな課題への対応も実施する。

- (1) 橋梁等の道路構造物に関する設計体系や報酬、構造設計技術等に係る検討、本省技術調査課等との意見交換会への参加
- (2) 関連専門委員会と連携した成果品の品質確保・向上のための活動

(道路構造物専門委員会委員長 鷲見 英吾)